

## 大田麻佐子 ピアニスト・作曲家

東京生まれ。桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業後、ベルリン芸術大学ピアノ科を最優秀で卒業。関すみゑ、園田泰子、三善晃、エリッヒ・アンドレアス、ジョルジー・シェベック各氏に師事。マスターコースにてアンドラーシュ・シフ、ジョルジー・クルターク各氏の薫陶を受ける。

現在、ヨーロッパを中心に、クラシック、現代音楽、即興、無声映画の即興伴奏、パフォーマンス、劇音楽や映画音楽の作曲など、ジャンルを超えたポエジーを求めて、幅広く、精力的な演奏活動を行っている。ラジオやCDなどの録音も豊富で、即興演奏のライブ録音 “OHENROSAN”(Pilgrims of sound, Germany) “Botenstoffe”(Confront Recordings, UK) “Kaiyushikiteien”(Creative sources, Portugal) 等のCDも発表されている。

その音楽活動は高く評価され、2016年、ミュンヘン・ゲージング文化賞第1位受賞。2019年には、ミュンヘン市より、隔年に授与される音楽芸術奨励賞を受賞。「大田麻佐子はピアノの詩人」(ミュンヘン文芸新聞 Münchner Feuilleton)とも評されている。

2018年春には、ドイツの国際的レーベル、Winter& Winter よりソロアルバム “Poetry Album” がリリースされ、大手の南ドイツ新聞 Süddeutsche Zeitung、音楽誌 Piano News など各紙からも絶賛された。

思いびとに捧げられ、詩のように綴られたクープランからペルトに至る楽曲を演奏し、「森の家」 Waldhaus Grandsberg, Germany で録音されたこのCD “Poetry Album” は世界各国で発売され、好評を得ている。

Masako Ohta “Poetry Album” Winter & Winter No.910244-2

2020年夏には、レーベル Winter & Winter から、ピアノソロ CD 第2弾 “My Japanese Heart” が世界各国でリリースされる。

“My Japanese Heart” では、細川俊夫、武満徹、安田芙充央らによる現代日本の調べ、古典箏曲、沖縄民謡をもとにしたピアノ即興など、大田自身の心のうちに響く日本の音が収録されている。録音は、前作同様、ドイツの「森の家」でおこなわれた。

Masako Ohta “My Japanese Heart” Winter & Winter 910 264-2

また、大田麻佐子は、“Ganzheitliches Klavierspielen-*spüren*” 「ホリスティックなピアノとの関わり合い」をモットーに、ピアノソロ演奏や室内楽のマスターコース、ワークショップなどもヨーロッパと日本を中心に行い、後進の指導にも力を注いでいる。

ホームページ

[www.masako-ohata.de](http://www.masako-ohata.de)

